



第八卷第十號

香子

幼稚園の本領

幼稚園は体育を主とす可きもので幼児の心身を養護することが最も主眼でなければならぬ。感情の教育は之に次いで盡力せられねばならぬが智育は最も輕き位置にあるものである。とは從來の保育法の唱ふる所ではあるが扨て實際の幼稚園保育は如何に之を實行して居るであらうか、吾人の見る所では事實は之と反對に出て居る様に見える。体育に就いては唯僅かに注意して消極的弊害を避けて居る位のもので一向積極的施設は之を見出すことが出来ない。次いで感情教育は体育に比して大に注意せられては居るが、併し談話や恩物に因つての智育的施設に比しては稍劣つて居る。即ち現在の幼稚園は其理論と實際とが全然反對して居るものであると云はねばならぬ。蓋し從來の保育理論の主張する体育主脳論が幼児教育の本領としては餘りに淺薄なる爲ではあるまいか。(湘南生)